

日時：令和05年3月5日（日） 9時45分～11時45分
場所：戸畑図書館 上田, 竹内（英）, 竹内（孝）, 佐々木, 荒川, 江藤
久保田, 田中, 林田, 片山, 若曾根 （11名）

1. DVD鑑賞（先月の続き）

「鮎川義介について」 竹内英雄サンより提供DVD

前回時間が切れのため、DVDの後半の鮎川義介を鑑賞。（詳細添付資料参照）

- ・戸畑鋳物株式会社（現日立金属）を創立。
- ・義弟：久原房之介が経営していた久原工業が経営破綻に瀕していたのを、再建要請があり建て直し日産コンツエルンを形成。日産自動車、日立製作所、日立金属の前身を設立。
- ・小倉の堺町公園の近くに住んでいた。
- ・戸畑の実業家。（安川敬一郎、松本健次郎、久原房之介、鮎川義介）

2. 3分間スピーチ主な内容

- ・戸畑北口道路建設地の試掘掘りは実施するとの話あり。
- ・文化財を活かした観光の考慮をする事で観光客を増やす方法を考慮できないか。
- ・若松渡し場からのクルージング(3/19)参加者9名。
- ・芦屋の資料館の見学は説明があり、有意義であった。是非行ってみたい。

3. その他

- ・令和5年度の予定
文化祭 11月5日（日） 13時～15時
テーマ 「戸畑の歴史について」
郷土戸畑39号の発行
- ・来月の定例会は 4月2日（日） 9時45分～11時45分 戸畑図書館
卓話 江藤s 西鉄バスの思い出
- ・3月19日～21日 北九州建物遺産トラスト主催イベント開催に参加
「若松南海岸通りの景観を継承するために」
3月19日 17:30～19:00 洞海湾クルージング
- ・同上 3月4日（土）9:30～12 長崎街道散策会の案内
主催は北九州の文化財を守る会

*** 添付資料(概要)



鮎川義介について

・ 生い立ち

明治13年（1880年）、旧長州藩士・鮎川弥八（第10代当主）を父とし、明治の元勳・井上馨の姪を母として山口県吉敷郡大内村（現在の山口市大内地区）に生まれた。

山口県立山口尋常中学校、旧制山口高等学校を経て、1903年（明治36年）に東京帝国大学工科大学機械科を卒業。芝浦製作所に入社。身分を明かさぬ条件で日給48銭の職工となる。その後、当時の技術はすべて西欧の模倣であったので、西欧の状況を体験すべく渡米。約1年強を可鍛鑄鉄工場（グルド・カプラー社）で労務者として働く。

・ 実業家として

1910年（明治43年）、井上馨の支援を受けて福岡県遠賀郡戸畑町（現・北九州市戸畑区）に戸畑鑄物株式会社（現日立金属）を創立（戸畑鑄物の工場があった土地は日立金属戸畑工場を経て2010年現在イオン戸畑店がある）。

1921年（大正10年）、当時としては珍しい電気炉による可鍛鑄鉄製造開始。

1928年（昭和3年）、義弟・久原房之助の経営する久原鋳業の社長に就任し、同社を日本産業（日産）と改称。久原鋳業は、当時は、第一次世界大戦後の恐慌と久原の政界入りで経営破綻に瀕していた。立憲政友会の田中義一（元陸軍大将）らの再建の懇請に鮎川は渋々応じた。会社を持株会社に変更し、公開持株会社として傘下に、日産自動車・日本鋳業（同年12月、日本産業株式会社に社名変更）・日立製作所・日産化学・日本油脂・日本冷蔵・日本炭鋳・日産火災・日産生命など多数の企業を収め、日産コンツェルンを形成。

・ 日産自動車の誕生

1933年（昭和8年）、自動車工業株式会社（現在のいすゞ自動車）よりダットサンの製造権を無償で譲り受け、同年12月ダットサンの製造のために自動車製造株式会社を設立する。

1934年（昭和9年）、自動車製造株式会社を日産自動車株式会社と改称。

1935年（昭和10年）、戸畑鑄物を国産工業株式会社に社名変更

1935年東京市民に憩の場を提供する目的で伊豆大島に私財を投じて公園を設立（後に東京都が買い上げて都立大島公園となる）。

1937年（昭和12年）国産工業、株式会社日立製作所との対等合併。鮎川が満業立ち上げのため、以前から関係のあった日立製作所の小平浪平に国産工業株式会社の経営を頼んだ。

1967年（昭和42年）2月13日死去。86歳